

平成10年 老人保健施設調査の概況要旨

厚生省大臣官房統計情報部保健社会統計課保健統計室
老人保健統計第1係 TEL (03)3503-1711 内線 4243

- 全国の老人保健施設は、平成11年6月末現在2,376施設、入所定員は207,331人であり、新・高齢者保健福祉推進十か年戦略（新ゴールドプラン）の目標値である入所定員28万人に対して74.0%である。
- なお、本概況で報告する施設及び利用者の実態については、平成10年10月1日実施の老人保健施設実態調査によるものである。

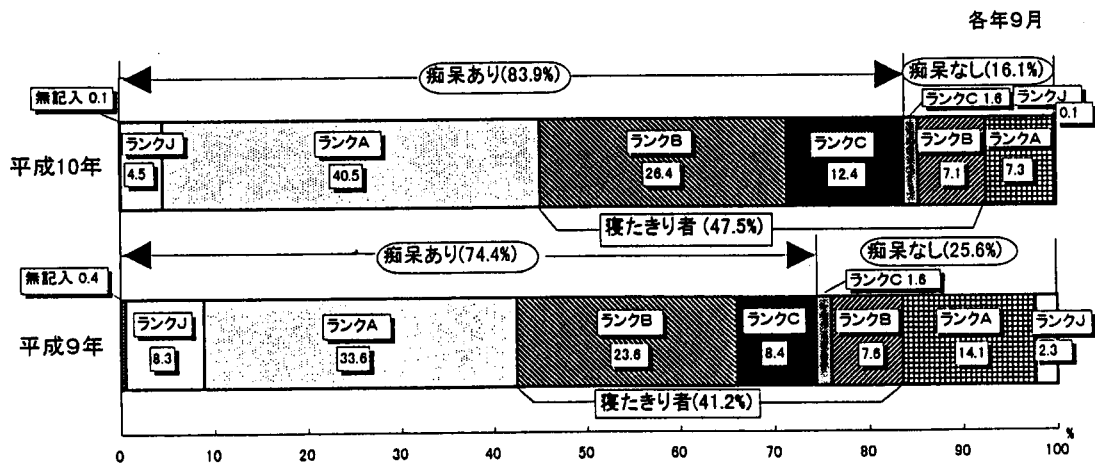
1 「痴呆性老人加算」、「痴呆専門棟加算」の施設数及び定員（概況P6）

「痴呆性老人加算」を算定している施設数は前年から27.5%増の1,391、定員は27.1%増の40,856人となり、「痴呆専門棟加算」を算定している施設数は31.4%増の427、定員は25.9%増の16,905人となっている。

	施設数				定員			
	総数	痴呆性老人加算(再掲)	痴呆専門棟加算(再掲)	日帰りリハビリ(再掲)	入所定員	痴呆性老人加算(再掲)	痴呆専門棟加算(再掲)	日帰りリハビリ(再掲)
平成9年	1,853	1,091	325	1,839	162,180	32,140	13,423	45,860
平成10年	2,184	1,391	427	2,171	190,457	40,856	16,905	58,704
増加率(10年/9年)%	17.9	27.5	31.4	18.1	17.4	27.1	25.9	28.0

2 入所者の痴呆の有無及び障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)の状況（概況P13）

入所者の「痴呆あり」は83.9%となり、前年から9.5ポイント増加した。「寝たきり者」は前年から6.3ポイント増加し47.5%となった。



寝たきり度	ランクJ	… 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。
	ランクA	… 屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。
	ランクB	… 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ。
	ランクC	… 1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。
	寝たきり者	… ランクBとランクCを合わせたもの。

3 ボランティアの来訪実績 (概況 P9)

平成10年4月～9月までの間にボランティアの来訪があった施設数は2,115、来訪延べ人数は343,717人で、その内、学生を除いた「女60歳未満」が35.3%、「女60歳以上」が24.3%となっている。

平成10年4月～9月

	来訪実績 施設数	来訪実績 延べ人数	学 生				一 般			
			中学生	高校生	大学生	専門学校生	男60歳未満	男60歳以上	女60歳未満	女60歳以上
			総 数	2 115	343 717	32 092	27 405	8 603	19 466	28 800
構成割合(%)	.	100.0	9.3	8.0	2.5	5.7	8.4	6.5	35.3	24.3
1施設あたり 来訪延べ人数	.	162.5	15.2	13.0	4.1	9.2	13.6	10.6	57.4	39.5

4 施設所在地と入所者の住所地 (概況 P10)

施設の所在地別にみると、県外からの入所者の割合が多いのは埼玉県、入所者の住所地別にみると、県外の施設への入所者の割合が多いのは東京都となっている。

県外からの
入所者の割合が多い県 (%)

1	埼 玉	19.6
2	茨 城	12.6
3	千 葉	10.3
4	栃 木	10.2
5	神 奈 川	8.5

県外にある施設への
入所者の割合が多い都府県 (%)

1	東 京	29.5
2	京 都	17.4
3	神 奈 川	13.6
4	奈 良	12.7
5	埼 玉	7.2

5 従事者の状況 (概況 P8)

従事者の内、専門職員は合計90,794.5人であり、入所定員100人当たり47.7人で、前年から1.7人増加している。専門職員の66.4%を占める「介護職員」は入所定員100人当たり31.7人で前年から1.2人増えている。

平成10年10月 (参考)平成9年10月

	従 事 者 数 (人)		従 事 者 数 (人)
	総 数	構成割合(%)	総 数
専 門 職 員 の 計	90 794.5	100.0	74 637.1
医 師	2 484.8	2.7	2 054.4
看 護 職 員	20 763.4	22.9	17 120.0
看 護 婦 (士)	7 216.3	7.9	5 855.8
准 看 護 婦 (士)	13 547.1	14.9	11 264.2
介 護 職 員	60 290.8	66.4	49 487.7
相 談 指 導 員	4 165.2	4.6	3 432.1
理 学 療 法 士	1 784.6	2.0	1 440.6
作 業 療 法 士	1 305.7	1.4	1 102.3
事 務 職 員 等	20 389	18.3	17 127

注：1)「医師」～「作業療法士」の兼任は、各施設の勤務時間に常勤換算した数値であり、「事務職員等」は常勤換算していない数値である。

2)「事務職員等」は、栄養士、薬剤師、調理員、その他の技術員、事務職員、その他の職員を合計した数値である。

入所定員100人当たり従事者数 (人)

	平成元年	平成4年	平成7年	平成9年	平成10年
	専門職員の計 (再掲)	40.2	37.5	42.3	46.0
介護職員	20.8	23.8	27.6	30.5	31.7

6 入所時判定理由 (概況 P11)

入所時の判定理由別に入所者割合をみると、「痴呆性老人」の割合が増えて 37.2%に、「病弱で寝たきりに準ずる状態にある老人」の割合が減って 36.2%となっている。

	総数	病弱な寝たきり老人	病弱で寝たきりに準ずる状態にある老人	痴呆性老人	初老期痴呆により痴呆の状態にある者	不詳
平成元年	100.0	15.8	63.2	20.4	-	0.5
4年	100.0	11.7	62.4	25.6	0.1	0.2
7年	100.0	13.4	53.4	32.0	0.6	0.6
9年	100.0	13.0	50.6	35.2	0.4	0.8
10年	100.0	25.5	36.2	37.2	0.5	0.5

注：平成元年は7月1日、4年～10年は10月1日調査による。

7 主傷病でみた利用者数 (概況 P12)

「アルツハイマー病」「ピック病」を加えた「痴呆」の入所者の割合は 34.6%となり、前年の 32.0%を上回った。通所者では「脳血管疾患」が 28.5%で最も多いが「痴呆」の割合が増えてきている。

	平成10年9月		(参考)平成9年9月	
	構成割合 (%)		構成割合 (%)	
	入所者	通所者	入所者	通所者
総数 (再掲)	100.0	100.0	100.0	100.0
V 精神および行動の障害 (再掲) 痴呆	30.9	21.4	32.0	18.8
VI 神経系の疾患 (再掲) アルツハイマー病	3.7	2.1
(再掲) ピック病	0.0	0.0
IX 循環器系の疾患 (再掲) 脳血管疾患	29.9	28.6	30.5	28.5
XIII 筋骨格系および結合組織の疾患	7.5	17.4	8.1	20.8

注：平成9年の「V 精神および行動の障害」の「(再掲) 痴呆」には、「VI 神経系の疾患」の「(再掲) アルツハイマー病」と「(再掲) ピック病」も含めた数値である。

8 家庭の状況別にみた入所者 (概況 P16)

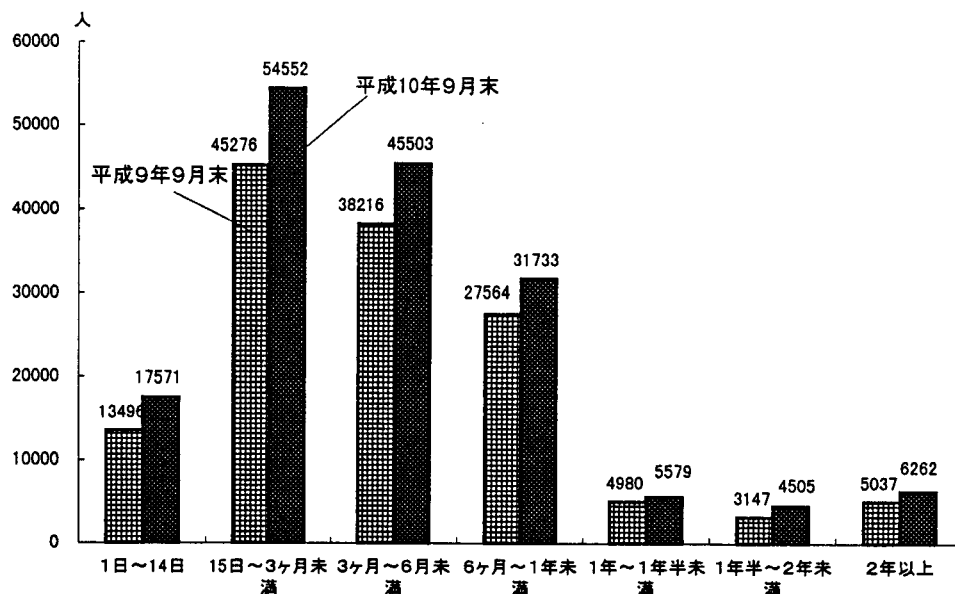
入所者の内、在所期間3か月以上の者について家庭の状況別に痴呆の状況をみると、「単身世帯」の者は家族がいる者に比べ、「痴呆なし」及び痴呆の程度が軽い(ランクⅠ、ランクⅡ)者の割合が多くなっている。

	入所者数	総数	痴呆あり	平成10年9月							痴呆なし
				ランクⅠ	ランクⅡ	ランクⅢ	ランクⅣ	ランクⅤ	不詳		
入所者総数	198 015	100.0	83.9	10.8	21.2	33.6	16.2	1.7	0.4	16.1	
在所期間3か月以上の者の総数	93 582	100.0	85.4	10.0	20.4	34.5	18.2	1.9	0.3	14.6	
単身世帯	18 924	100.0	81.6	12.0	23.9	31.4	12.6	1.4	0.4	18.4	
夫婦のみの世帯	8 276	100.0	85.5	10.0	19.0	32.3	21.0	2.7	0.3	14.5	
子のいる世帯	60 378	100.0	86.6	9.3	19.6	35.7	19.6	2.0	0.3	13.4	
その他の世帯	6 005	100.0	85.2	9.8	20.2	36.0	17.5	1.4	0.3	14.8	

痴呆度	ランクⅠ	...	何らかの痴呆を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にはほぼ自立している。
	ランクⅡ	...	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
	ランクⅢ	...	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。(食事・排泄等が上手にできない。徘徊、失禁等)
	ランクⅣ	...	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
	ランクⅤ	...	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

9 在所期間別在所者数 (概況 P17)

在所者の入所から9月末日までの在所期間をみると、「15日～3ヶ月未満」の者が最も多い。



10 退所者の平均入所日数 (概況 P17)

平均入所日数は120.7日で前年の117.9日より長くなっている。家庭に戻った者の平均は95.5日で退所して施設等へ入った者の平均より短くなっている。

	退所者 (人)			平均入所日数 (日)			(参考) 平成9年 総数
	総数	(再掲)		総数	(再掲)		
		65歳以上 痴呆ありの者	65歳以上 痴呆なしの者		65歳以上 痴呆ありの者	65歳以上 痴呆なしの者	
総数	19 830	16 025	3 616	120.7	124.2	104.9	117.9
家庭	9 276	7 161	2 026	95.5	96.9	89.6	93.6
社会福祉施設	2 188	1 870	298	177.2	181.1	152.0	168.7
医療機関	7 131	5 999	1 066	129.0	132.2	109.7	126.9
死亡	267	240	26	190.1	199.8	106.1	199.8
その他	968	755	200	154.7	153.7	163.2	149.1

注：1) 退所者のうち短期入所ケアの者(12,480人)は除いてある。

2) その他には退所後の行き先別不詳を含む。

11 一人当たり平均利用料 (概況 P20)

利用料は、入所者一人1か月当たり65,419円、通所者一人1日当たり910円となっている。

	平均10年9月	平均9年9月
入所者1か月当たり平均利用料 (円)	65 419	63 126
通所者1日当たり平均利用料 (円)	910	894

注：1) 入所者の特別な療養室料を除く。

2) 9月中の1か月間入所した者について算出したものである。